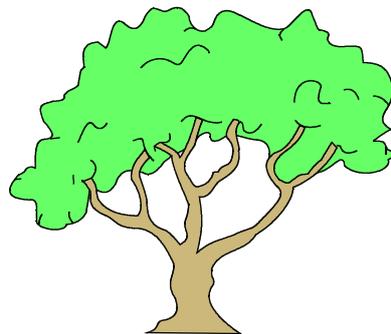


こんな子どもに ☆ゆめをもち、なかまを大切に、元気いっぱい！

「くやしい思い」の持つ意味

ある講演会で、考えさせられる話を耳にしました。その講演会の講師は、女優として活躍するとともに、毎朝放送される情報番組のレギュラーレポーターを務めタレントとしても知られる團遙香さんでした。



講演会は、その方の母校の小学校で行われました。全校児童が集まる中に、60分という時間は低学年の子どもたちには長いかとも思われたのですが、そんなことは全くの杞憂でした。小学校時代の経験談はもとより、レポーターとしてのさまざまな工夫に基づくいくつもの問いかけに、子どもたちは楽しそうに聞き入っていました。

子どもたちとのやりとりの中で、とりわけ印象に残ったのが「今の活動をする上で、小学校での経験で役に立っているものはありますか？」という質問に対する答えでした。わずかな沈黙の後の、彼女のきっぱりとした答えは「くやしい思いをいっぱいしたことです」というものでした。小学校に限らず、学校ではどれほど頑張ってもかなわない、というようなことがしばしばあったけど、その都度自分自身の課題や新たな目標が見つかり、どうしたらいいか考え、行動することができるようになったのだから意味のある経験だったという趣旨のことを話されました。

「くやしい思い」の反対の状態は納得できる、満足できる、ということになるでしょうか。逆説的ながら「くやしい思い」を経験し、それに向き合い、様々に軌道修正を試みることが大切なのではないでしょうか。そんな事を考えさせられた講演会でした。また、「くやしい思い」は一生懸命努力した者にしか感じられないことかもしれません。

五月に行った運動会。閉会式で成績発表があり、優勝、二位、三位と



発表していきました。優勝カップや賞状を渡していきましたが、優勝できなかったブロック長の表情が、今でも心に残っています。心の底から「くやしき」が湧き上がってくるかのような表情でした。ここまで「くやしい思い」が持てるその子の、それまでの努力が透けて見えたような気がしました。あの「くやしい思い」は、きっと、その先の子どもたちの人生を豊かにするものとなるでしょう。

私たち大人は、子どもたちに「くやしい思い」をさせないように手立てを講じることばかりに気をとられていないでしょうか。子どもたちには、くやしきを感じるまでの努力とくやしきを乗り越えることのできる強さを育てていきたいものです。

○学校を「あったか言葉」でいっぱい

「いのちと平和の集会」で掲示された「ひまわりのめあて」です。おもいやりの心を大切にするために、学級でめあてを決め、一枚一枚の花びらに、個人のめあてが書いてあります。

例えば、「いじわるをしません」「ありがとうございます」「やさしいことばで話します」「困っている人がいたら助けます」というめあてが書かれています。このめあては、一年を通して考え、実践するものです。



学級で話し合いながら、めあてを決めていく様子も見ていましたが、今の自分となりたい自分を比べて話し合っている学級もありました。子どもたちが決めた大切なめあてです。

今は、職員室前の廊下に掲示してあります。学校に立ち寄られた際は、見ていただければうれしいです。

☆こんな学級のめあてがありました☆

- ◎じぶんのいのち ともだちのいのち たいせつに
- ◎みんなで助け合い いのちをたいせつにしよう
- ◎なかまを大切に行動するクラス
- ◎自分が言われていやなことは 人に言わない
- ◎毎日スマイルで まわりの人への感謝をわすれず 命を大切にしよう
- ◎日野小みんな笑顔（にこにこ）に
- ◎あいがいっぱい ステキな教室
- ◎ふわふわ言葉で友だちにっこり やさしい気持ち
- ◎思いやりあふれる〇年〇組にしよう
- ◎あったかことばでやさしさいっぱい
- ◎あったかことばでいのちキラキラ

